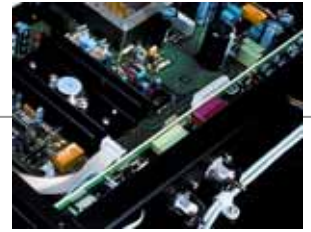


HP300 MKII



真空管によるラインステージ部分と、
半導体による出力バッファ部分から成り立つハイブリッド真空管プリアンプ

Hybrid Pre Amplifier HP300 MKII



設計理念

HP300MK の回路設計は、^{オクターブ}OCTAVEの最高級リファレンスプリアンプ ^{ジュビリー}Jubilee(日本未発売)の設計理念に基づいています。真空管セクションによる増幅回路は、プリアンプの音楽的性能を特徴付ける重要な役割を担っています。さらに、半導体を使用した新設計のバッファ回路は、あらゆる負荷変動に対する安定性を備えています。

真空管とトランジスタの融合

真空管とトランジスタの精巧な融合は、測定上、並びに聴感上においても、リスナーへ大きな利益をもたらします。パワーアンプへの出力には、半導体による超高性能なバッファ回路を挿入しており、並外れた実測値と安定性をもたらします。またバッファ回路を挿入したことによって、増幅段への負荷変動の影響を断ち切ることが出来るため、真空管が持つ豊かな色彩表現、並びに動的な特性のよさを最大限に発揮できるのです。

マルチ CH 再生に対応したバイパス機能

ロータリースイッチによる入力切替から、リレーによるセレクトへ移行したことで、マルチ CH 動作のような複雑な切替システムの搭載が可能になりました。1つのシステムにおける DVD やデジタル放送といったマルチch再生と、CD などのステレオ 2ch再生との融合を果たすために、HP300MKII では入力された信号をそのままプリ出力から出力できるバイパス機能が追加されました。このことによって、マルチチャンネルプロセッサとプリアンプで 2 段のボリュームを経由したり、ケーブルのつなぎかえによってパワーアンプを共用したりすることなく、1システムで両方の再生を楽しむことが出来るのです。さらに入力間のクロストーク特性も改善されています。

純粋な音楽再生

音楽信号のみが増幅されている為、サウンドは活気があってのびのびとしており、不自然な音を付加しません。ゆえに極めて音楽的と言っても過言ではないのです。



OCTAVE

HP300 MKII

Hybrid Pre Amplifier HP300MK

技術詳細

HP300MK II は、ハイブリッド構成により様々な負荷に対しても優れたドライブ力を発揮します。バッファには高電流出力デバイス(BUF634)を使用しています。真空管回路は2つの部分に分かれており、初段のECC802は高インピーダンスな入力段を形成し、ECC88(6922)を使用する次段はバッファを駆動します。システムにはNFBをかけています。

本機は2つのゲイン設定 (gain low: 12.5dB, gain high: 17.5dB)が可能。XLR出力は半導体による反転アンプ素子を通して出力されます。バランス出力は常にRCA出力に対して+6dBの信号レベルです。高電流出力が可能なバッファ部によって、HP300MK IIの実際出力インピーダンスは非常に低くなります。バランス出力段はDC結合、RCA出力段はAC結合されています。RCA出力のカップリングコンデンサは15 μ Fです。

フォノステージも同様の技術で造られています。RIAAアンプの中心には真空管が1本(ECC81)あります。MC入力段には、特別な超低ノイズIC(LT1115)を使用しています。EQ部は真空管で形成され、出力段はFET入力IC(OPA604)によるものです。この3つの段の設計は、MCフォノサーキットに求められる全ての必要なセッティングを可能にします。MC入力インピーダンスは調整可能で、ゲインも選択でき、サブソニックフィルター機能も備えています。全ての内部供給電圧は各々の箇所 で安定化されています。

新しい電源部はより広い範囲の電圧変動に対応し、電源の汚染による音質への悪影響を受けにくくしています。その改善の度合いは商用電源や使用環境にも左右されますが、測定数値上のみならず、聴感上にも好結果をもたらしました。また、出力ハム音とノイズは理論値限界まで低減されています。

特徴

- 他のパワーアンプ/スピーカーとの最適な組み合わせを可能にするゲイン切り替え機能
- 赤外線リモコン(音量のみ)
- バイパス機能を使用するときは、AUXに入力された信号が、プリ出力のRCA2とXLRにそのまま出力されます。
- ヒーターと高電圧供給箇所へのソフトスタート機能
- 動作開始までの遅延時間は180秒
- 装置動作電圧は90-110V AC電源
- ヒーターシステムはDC点火(6.3V DC)
- プロテクション回路は内部の高電流・高電圧部分はリミッター回路によって制限。低電圧部分はフェューズによって保護アンバランス、バランス出力はショートされます
- 天板を厚く強化したことで筐体の剛性が更に強化され、音質の重心を下げるのにも一役買っています。
- 選択された入力を知らせるLEDの追加

仕様

■ ラインアンプ総合特性

使用真空管	Line: ECC 802, 6922, Phono: ECC 81 (5751 or 6072)
ゲイン high:	17.5dB
low:	12.5dB
残留ノイズ:	gain high / 30 μ V 以下 gain low / 10 μ V 以下
周波数特性:	3Hz-300 kHz / -1.5dB
全高調波歪率:	0.001% (3V / 7.5 k Ω)
全高調波歪率 (RCA 出力):	0.001%以下/通常-98dB (3Vrms)
入力抵抗:	アンバランス: 100K Ω バランス: 5.6K Ω
クロストーク (出力LR間):	-80dB/1kHz (入力オープン 100 Ω 終端)
(入力端子間):	-90dB/1kHz (入力オープン 100 Ω 終端)
SN比:	gain high / -92dB gain low / -100dB
チャンネルセパレーション:	-65dB / 1 kHz
出力インピーダンス:	100 Ω (アンバランス) 2 x 100 Ω (バランス)
チャンネルトラッキング:	0.5dB / -70dB
ピンアサイン, バランス出力:	Pin1: ground Pin2: + (hot) Pin3: - (cold)

■ MC フォノ部

RIAA イコライゼーション偏差:	\pm 0.3dB (15Hz-20 kHz)
サブソニックフィルター特性:	20Hz / -3dB (12dB Oct.)
入力インピーダンス:	30-1000 Ω の間で16段階に 設定可能
入力感度:	0.1mV
ゲイン high:	80dB
low:	71dB
SN比:	-75dB

■ 一般

出力端子:	XLR x 1, RCA x 2 (バイパスモード時には、XLRとRCA2には入力信号がスルーで出力される)
入力端子:	RCA x 4 (フォノモデルはMC(RCA) x 1 RCA x 3), XLR x 1, テープ (RCA) x 1
消費電力:	25W
標準アクセサリ:	AC電源コード, リモコン
重量:	9kg
サイズ:	435w x 65h x 390dmm
税込価格 (ラインモデル):	¥787,500 (本体価格¥750,000)
税込価格 (フォノモデル):	¥1,008,000 (本体価格¥960,000)
仕上げ:	シルバー / ブラック

OCTAVE

総輸入代理店 フューレンコーディネート

フリーダイヤル: 0120-004-884

www.fuhlen.jp/octave